



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



サッカーを通じて人々に元気と勇気を 与える元気人

日本プロサッカーリーグ「Jリーグ」ヴィッセル神戸の選手として活躍する本市出身の元気な男性を紹介します。

紀^き氏^し隆^{りゅう}秀^{しゅう}さん(23歳)中央町出身



▶ピッチ(グラウンド)上で、必死になってゴールを守る紀氏さん
(写真提供：ヴィッセル神戸)



▲市長を表敬訪問した紀氏さん
(左から中貝市長、紀氏さん、木谷市議会議長)

Q 常日頃から「豊岡でサッカーをやっていたからプロになった」と話している紀氏さん。地元豊岡に強い愛着を抱いている紀氏さんに、質問に答えていただきました。

Q 中学生のときに豊岡を離れ、神戸の中学校へ通いながらジュニアユースでサッカーを続けることに不安はなかったですか？

A 母親と祖母は「寂しくなる」と言っていたけれど、父親は「夢のために行っていい」と背中を押してくれたので、不安はありませんでした。

Q お父さんはどんな方ですか。

A 昔から「勉強しなさい」と言われた記憶はありませんが、礼儀やあいさつに厳しい人でした。ただ、サッカーをすることを一番応援してくれていたのも父親でした。

Q 紀氏さんは、どんな子どもでしたか？

A やんちゃでした。小学6年生のころには、身長が172センチメートルあり、整列したときも一番後ろでした。

Q サッカーを始めたきっかけは？

A Jリーグが始まり、盛り上がりつつあったので、興味を持つようになり、小学4年生から本格的に始めました。

Q なぜ、キーパーというポジションを選んだのですか？

A 楽しそうだったので(笑)。プロのサッカー選手になりたいと思ったのはいつごろですか？

A 中学校に入るとき、ジュニアユースの試験に受かったころから、真剣にサッカーに取り組みようになり、プロのサッカー選手になりたいと思うようになりました。

Q プロに入って気持ちの変化はありますか？

A とても厳しい世界で、1年1年が勝負だと強く感じています。

Q ヴィッセル神戸というチームはどんな雰囲気ですか？

A 高校を卒業してすぐの選手からベテラン選手まで在籍していて、バランスのと



▲紀氏隆秀さんのチーム歴
豊岡小学校を卒業後、ヴィッセル神戸ジュニアユース(布引中学校)、ヴィッセル神戸ユース(神戸国際大学附属高等学校)を経て、現ヴィッセル神戸へ。ポジションはゴールキーパー

れたチームです。選手同士も仲が良く、とてもアットホームな感じで居心地の良いチームです。

Q ホームグラウンドである「ホームズスタジアム神戸」での試合はどんな感じですか？

A ピッチ(グラウンド)と客席が近くて、声援がよく聞こえます。一人で戦っているんじゃないだと思わせてくれて、とても心強いです。

Q 休みの日は、何をしていますか？

A 神戸市内へ買い物に出掛けます。部屋にいることより、外に出掛けることが多いです。

Q 来シーズンに向けての抱負を聞かせてください。

A 昨年より多くの試合に出場し、チームのために貢献したいと思います。

広報マンがやってきた!

幼稚園編

14

三方幼稚園

(日高)

〈園児17人〉



山あいの美しくのどかな風景が広がる三方幼稚園では、

年間を通じて、三方小学校との交流を盛んに行っています。

2月3日、同小学校1年生との交流が行われましたので、その様子をのぞいてみました。

ドキドキ、ワクワク!

「ストッパーがかかってない?」

この日、1年生のお兄さんやお姉さんたちを招いて「桃太郎」を演じる園児たち。衣装のチェックや舞台準備も自分たちで行います。

準備ができると小学校へ。

「よければ、来ててください!」

とドキドキしながら、1年生の教室へお迎えに行きました。



少し緊張...

でも、大丈夫!

思ったよりも早く準備が終わった園児たち。少し緊張気味です。しかし、先生から「人の字を手のひらに3回書いて飲み込むと緊張しない」と聞き、試してみること...。

もう、これで大丈夫!



楽しんでもらってうれしいよ!

いよいよ本番!

おまじないの効果が出たのか、舞台の転換や衣装の着替えなどもスムーズにこなしていく園児たち。せりふも忘れることなく、練習の成果を発揮することができました。

「面白かった」

園児たちの演技は、1年



生の児童たちに大好評で、みんな笑顔になりました。

見に来てくれて、ありがとうございます!

1年生から、演技で直した方がよいところは「ない」とお墨付きをもらった園児たち。最後に「見てくださって、ありがとうございました」

礼を言いました。本当は、とても緊張していた園児たち...。

みんな、がんばったね!



笑顔の輪

まごころを描く

サークル「絵手紙教室」(豊岡)

「絵手紙教室」は、発足して1年の若いサークルで、会員は現在14人です。

代表者の居相美智恵さんは、「コウノトリ文化館で開催されてきた長谷川令子さんの絵手紙展を観てすっかり魅せられ、関口和子さんと一緒に絵手紙教室を立ち上げました」と話します。

活動日は奇数月の第3木曜日の午後です。新田地区公民館に集まり、季節に合わせて暑中見舞いや年賀状を作るほか、それぞれ描きたい題材で絵手紙を作ります。



▲思い思いに描く楽しい時間

こ「分かってもらえてうれしいわ」などと会話も弾みながら、絵手紙が出来ていきます。芽の出た玉ネギの絵には生命力が溢れています。

絵手紙の魅力を皆さんに聞くと、「元気の源」「下手でも出来る」とうれしい「年を取ってもずっとやっていける」「受け取った人に喜んでもらえる」「次は何を描こうかと考えることが楽しい」「添える言葉も魅力」などいっぱい。指導者の長谷川さんが、「絵手紙は宿題も、予習も復習もなくて楽しめま

す。絵が上手でなくても心を込めたらそれが味わいになります。競わなくてもいいんですよ」と魅力をまとめてくれました。

一日体験もできます。問合せは、居相さんまで。☎23-24407